鈴鹿の空に70余人の声響く！

6月30日、安倍内閣暴走ストップ・白子駅前アクションが、70余名の参加でおこなわれました。集団的自衛権を容認して日本を戦争する国に変えようとする安倍内閣に強い危機意識を多くの人が持たれていることのあらわれです

白子駅前にずらりと並んだ「阿倍内閣暴走ストップ」「集団的自衛権反対」「戦争する国つくり反対」のプラカードは、今まで見たこともない迫力でした。

多くの団体からの参加があったことは、今後の運動の新しい力となるのではと思います。

プラカードの後ろのほうにはどこの団体にも属さない多くの市民の姿がありました。

実は以前勤務していた職場の同窓会が28日にあり、アクションをアピールさせてもらいました。「その日は碁の集まりやで無理や」と言われた方も、お返事のなかった女性の方2、3人も参加してくださいました。きっと私にはわからない方の参加も多かったのではと嬉しいかぎりです。

多くの市民の方が、政治を政治家任せにせず、いろいろな形で声をあげていくことが大切だと思います。閣議決定がなされただけです。

手を取り合って、戦争をする国へ変えようとする安倍政権に「NO！」をつきつけましょう！　［山本あけみ］

腹が立って、ボケられん

ここ約20年、気が向いた時に、お連れと昼に軽く一杯と食事をしながら、談笑するのが楽しみの一つです。各人の考えをしゃべります。

▼「有事法制」成立前後には、「どうする！！ファシズム国家・戦時国家日本を」ーみんな目を覚まし、見聞きし・分かり・動こうー

▼昨年5月には、「今の政治は、白々しく、ヌケヌケとウソとゴマカシで憲法を喰う・民を喰う（喰う＝小馬鹿にして存在を認めない）そんな政治屋・財界人は許せない」

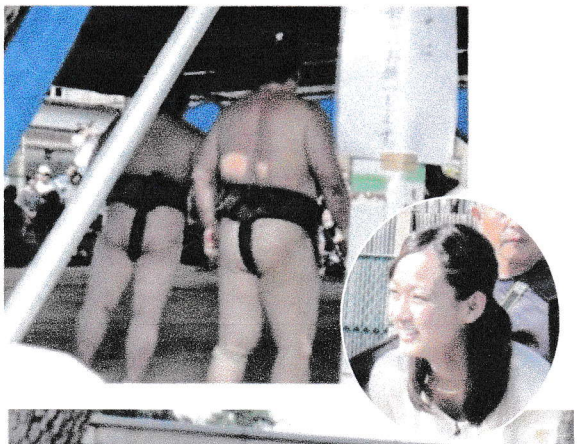
▼今年の5月には、「安倍は、中曽根康弘2世？・無法者でDestroyer（破壊者）だ」と言うのも、平成13・5・27報道2001「日本再生の道筋を問う－中曽根康弘に」で、中曽根は「第2次戦後総決算をやる」と言って、集団的自衛権の行使は憲法を改正しなくても、解釈でやる。総理大臣が一番偉い。「国家安全保障基本法」をつくって、危機存亡の時に自衛隊を外国へ派遣する。財政・教育等「創造的破壊」をやると言い放った。

安倍は、忠実に、着々と憲法を壊しまくっている。国のトップが最高法規を守らない。

一方「憲法は人間の歩く道」（米倉斉加年）「自民国会議員に言いたい。君たちは人間か」（浜矩子）と。同感!!

平和への固い理念を持って、少しでも自分を役立てたい。自分に直結することだから…。痛感する今日この頃です。

［磯山・中野敬二］



追手風部屋の朝稽古

大相撲の追手風部屋が、白子東町の「松葉屋」旅館に名古屋場所の宿舎を構えています。

稽古場はすぐ向かいにある白子東公園。人気力士の遠藤関をひと目見ようと、大勢の人が集まってきています。

7月5日（土）朝8時頃の写真です。この日はNHKと東海テレビも取材に来ていました。アナウンサーの浦口史帆さんの姿も・・・。

［寺家町　吉田一男］